BEST AVAILABLE COPY

特許庁

77 B 0 (112 G 0)

特許公報

特許出願公告 昭43—17521 公告昭48.7.24 (全2頁)

自動車タイヤ用バランスウエイト

酶 昭 39~58568

出 顧 日 昭 39.10.16

発明者 村上邦彦

東京都目黒区上目黒8の266

出 願 人 萬歲自動車株式会社

東京都中央区日本橋通り1の6

代表者 野村績

代理 人 弁理士 丹生藤吉 外2名

図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る自動車タイヤ用バランス ウエイトの第1の実施例を示す斜視図、第2図は 第2の実施例を示す斜視図、第3図は本発記のバ ランスウエイトをタイヤのリムに接着した状態を 示す正面図である。

発明の詳細な説明

本発明は自動車タイヤのリムに固定するパラン スウエイトに関するものである。

自動車車輪の静的及び動的釣合を取るために従来はホイールのリムにパランスウエイトをポルトにより固着しているが、本発明は従来のようにポルト等の固層具を一切用いることなく、しかも如何なる場所にも頗る簡単に取付けられる極めて便利なパランスウエイトを提供しようとするものである。

而して本発明は鉛、鉄など比較的比重の大きな物質の粉粒物と金属の接合を行う接着剤とを混合したものを板状、棒状などに成形し、これを適宜の長さに切断して、ホイールに接着することを特徴とする自動車タイヤ用パランスウエイトである

即ち図示の実施例に示すように、鉛の粉末 | を金属への接合が可能な接着剤 2 と混合して第 | 図及び第 2 図に示すように板状又は棒状 A となし、これを任意の長さに切断することにより所定の重量となり、該切断片 B を第 3 図のようにタイヤのリム 3 にそのまま接着するのである。

本発明は上述のような構成であるから、従来のように固着具を用いてリムに固定する必要がなく非常に迅速簡単に固着できる効果があり、螺子が緩んで外れるようなことは全くない。又特に本発明においては、金属と完全に接着する接着剤を混合してあるからそのままでリムに接着し、従つて取付操作が至極容易である。更に板状、棒状の本発明ウエイトは適宜の長さに切断して利用できるので所望の重量のものが簡単に得られる等の特徴を発揮し、進歩した発明である。

特許請求の範囲

1 鉛、鉄など比較的比重の大きな物質の粉粒物と金属の接合を行う接着剤とを混合したものを板状、梅状などに成形し、これを適宜の長さに切断してホイールに接着することを特徴とする自動車タイヤ用バランスウエイト。

BEST AVAILABLE COPY

(2)

特公 昭43-17521





